

東包括だより

地域包括支援センターは65歳以上の『なんでも相談所』です。高齢になると、ご自身やご家族のことで悩みや不安がでてくるかもしれません。「どこに聞いたらいいんやろ?」と思った時には、お気軽にご相談ください。年齢を重ねても自分らしく、住み慣れた地域で暮らし続けるための方法を、福祉や医療の専門職と一緒に考えます。

認知症を知る映画「ペコロスの母に会いに行く」鑑賞会を開催しました。

©2013「ペコロスの母に会いに行く」製作委員会

認知症地域支援推進事業の一環として、令和7年9月12日(金)、伊勢市生涯学習センター(いせトピア)にて映画鑑賞会を開催しました。当日は平日にもかかわらず、106名の方にご参加いただき、認知症に対する関心の高さがうかがえました。上映後には参加者から「会社員や若い人にも観てもらいたいです。」などと感想が寄せられました。



介護予防教室「男の料理教室」を開催しました。

令和7年10月22日(水)、二見まちづくりの会・健康福祉委員会と共同で介護予防教室を開催しました。今回は「男性の料理教室」として、食のボランティア・たんぽぽ様を講師に4品つくりました。



当日は11名の方に参加いただき、慣れない手つきながらも、皆さん調理に取り組んでいました。「家でも作ってみようと思う」などといった声が聞かれ、料理を通して参加者同士の交流も深まりました。



今後も介護予防につながる企画を計画し、地域の健康づくりをサポートしていきます。



高齢者とペットの暮らし



「大切なペットのためにできること」

ペットとの暮らしは、私たちの日常に大きな幸せを与えてくれます。しかし、急な入院などでペットであるワンちゃん、ネコちゃんたちが自宅に取り残され、悲しい状況に置かれる事例があります。今回は、伊勢市を拠点に野良猫の保護活動を行う団体、IseHappyCats(伊勢ハッピーキャッツ)の中村代表に「大切なペットのためにできること」を伺いました。

不妊去勢はしていますか？



動物は本能で繁殖し、親子やきょうだい間でも子どもをつくります。特に猫は生後半年で子どもを産める身体になり、高確率で出産、繁殖率も高いです。「2〜3匹なら大丈夫」と思うと、すぐ猫だらけになります。また「誰かが拾うだろう」と捨てることは絶対にやめて下さい。動物遺棄は犯罪です。必要以上に増やさず不妊去勢は先延ばししないようにしましょう。

清潔は保たれていますか？



人と動物には共通の病気があり、動物から人へ、人から動物へうつすこともあります。基本的な食事・トイレのしつけ、ノミやダニの予防、ワクチン接種などはしていますか？これらはペットホテルに預けるときにも必要です。またペットだけでなく、人も不調を感じたら医療機関を受診しましょう。



将来への備えはできていますか？



ペットの世話に毎日時間をかけられますか？ペットの世話に休みはなく、飼うには覚悟が必要です。特に飼い主も高齢者になると免疫力や体力が落ち、体調を崩しやすくなります。現状を把握し、困ったときに備えて動物病院の確認や一時的な預け先の確認、ペットホテル・ペットシッターを調べておきましょう。



ペットを最期まで看取るのは、飼い主の愛情と責任です。介護や看取りの時期に不安を感じたときは、一人で抱え込まず、相談できる相手を見つけましょう。飼う前に「自分に何ができるか」をしっかりと考えることが大切です。「飼わない」という選択も、立派な動物愛護のかたちです。



伊勢市東地域包括支援センター ☎519-0609 伊勢市二見町茶屋456-2

担当地域：黒瀬町／通町／一色町／田尻町／二見町

TEL 0596-44-1165 FAX 0596-43-4427

メール▶ise-higasi-houkatu@mie.email.ne.jp 開設時間▶8:30~17:15 休業日▶土・日・祝日・年末年始